

『今月の一言』

年度末の駆け込みの時期、皆様いかがお過ごしですか？いよいよ桜が見ごろを迎えますね！春は別れと出会いの季節と言われますが、私はうきうきするというよりは、ちょっぴり寂しく感じます。すでにご紹介したとおり、GC-JN 事務局にも人事異動があり、4 月からメンバーが一部変更になります。貴社・貴団体におかれましても GC-JN のご担当窓口のご変更がありましたら本レター内に記載の手順に従いご対応くださいませ。今月も盛りだくさんですがご覧いただけますと嬉しいです。(GC-JN 事務局)

INDEX

---

★GC-JN からのお知らせ★

- 【速報】2013 年度 GC-JN 会員アンケート
- GC-JN 会員数最新情報(2014 年 3 月 27 日時点)
- 【依頼】GC-JN 会員窓口変更お忘れなく！
- 【重要】ネットワークエンドーサーロゴ(通称: JN サポートロゴ)の導入
- 【御礼】GC-JN 中期計画 2014-2016 タウンミーティング
- 【報告】アジア/オセアニア リージョナルミーティング
- 日中韓ラウンドテーブル進捗状況
- 【報告】2014 年「世界水の日」記念イベント(3 月 20、21 日)
- 【ご案内】第 6 期互理町(わたりちょう)コレクティブアクション募集開始
- 【分科会関連】次年度分科会募集に向けて
- 【依頼】GC-JN 年次総会とラーニングフォーラム(6 月 4 日)について
- 【リマインド】「子どもの権利とビジネス原則」日本リリースシンポジウム(5 月 16 日)

★UNGC の最近の動き★

- 世界の会員数最新情報(2014 年 2 月 27 日時点)
  - 【ご参考】①Call for Comments: A Practical Guide to Supply Chain Traceability  
②A Guide for Anti-Corruption Risk Assessment
- 

★GC-JN からのお知らせ★

○【速報】2013 年度 GC-JN 会員アンケート

1 月下旬から 2 月中旬にかけて実施した GC-JN 会員年次アンケートには、103 企業・団体の皆様にご回答を頂き誠に有難うございました。回答結果は現在集計中ですが、GC-JN の活動に関するさまざまな設問へのご回答からは会員の皆様の GC-JN の活動に関する期待をひしひしと感じています。頂戴したご提案、ご指摘を今後の活動に活かし、さらに GC-JN の取り組みを推進して参ります。回答結果詳細につきましては、6 月 4 日に開催の年次総会でご報告をさせていただきます。

○GC-JN 会員数最新情報(2014 年 3 月 27 日時点)

GC-JN 会員数 183 団体および企業

\* 3 月新規会員: 日本ユニシス、グローリー、住友三井オートサービス

**○【依頼】GC-JN 会員窓口変更お忘れなく！**

平素より、GC-JN 会員窓口の皆様には会員情報更新やロゴの適正使用にご協力いただきありがとうございます。会員の皆様におかれましては、春の異動により、GC-JN の窓口をご変更される方がいらっしゃると思います。そこで、皆様をお願いとなりますが、UNGC および GC-JN の窓口担当を変更された場合は担当者情報の変更をお忘れなきよう、宜しくお願いします。窓口の皆様には日頃からメーリングリストで重要なお知らせをお送りさせていただいておりますので、変更がある場合はこまめに更新いただくことをお願いしております。ご理解の程宜しくお祈りいたします。

詳しい手順は GC-JN 会員サイトにログイン→HOME→メインメニューの[会員情報管理システム](#)のトップページにございます。※メンバーアカウントの「アカウント情報」の変更はしないでください。

**○【重要】ネットワークエンドーサーロゴ(通称:JN サポートロゴ)の導入**

3/14 にメールでご案内以来、「ネットワークエンドーサーロゴ」の使用申請をお済みの会員さんも複数社いらっしゃいますが、重要事項ですので改めてお知らせします。

昨年まで GCO へ申請して使用していた「We Support ロゴ」は、ご存知の通り 2014 年 1 月から GCO へ寄付をした企業のみが使用可能となりました。一方で、この度新たに「ネットワークエンドーサーロゴ」が新設となり、GCO への寄付の有無にかかわらず GC-JN 事務局へ申請いただくことで使用可能なロゴが導入されました。使用の手順、ルールについては以下のページに掲載しましたのでご確認ください。使用時には GC-JN 事務局へ事前申請が必要です。今後とも GC 関連のロゴの適正使用のご協力を宜しくお願いいたします。

**[ネットワークエンドーサーロゴ\(通称 JN サポートロゴ\)について\(会員サイト\)](#)**

現行のロゴポリシーでは、3 種類のロゴが存在します。

- ①We Support ロゴ(GCO へ寄付をした企業のみが使用可、使用時は GCO へ申請必要)
- ②COP ロゴ(申請不要、COP にのみ使用可、2014 年 1 月よりデザイン変更)
- ③ネットワークエンドーサーロゴ(ローカルネットワークを支持する旨を表したロゴ、GC-JN 事務局へ申請必要、2014 年 3 月より発効)

それぞれのデザイン、用途、使用ルールが異なりますのでご注意の上、適正なご使用にご協力ください。

**○【御礼】GC-JN 中期計画 2014-2016 タウンミーティング**

3/4,6,7 の計 3 回、20 名弱の会員にご参集いただき、GC-JN 中期計画のヒアリングを実施いたしました。主なご指摘としては、①内容が盛りだくさんだが、限られた経営資源で本当に全て実行可能か、②「グローバルに発言・行動する」ことへの転換は会員の望むところなのか、③「日本有数の CSR 団体と認知／評価されること」は目標でなく結果ではないか、等、多くの貴重且つ尤もなご意見・アドバイスをいただきました。一方で、こうした目標に対するご理解を示していただいたことも確かであり、現在、これらを踏まえた上で、6 月の総会に向けて中計の最終案を作成中です。最終的には、会員の皆さんが、「GC-JN がなぜこうした中計を策定したか、その背景は何か」など、貴社・貴団体内でご紹介いただけるようなものに仕上げたいと思います。

**○【報告】アジア／オセアニア リージョナルミーティング**

2月24日～26日にジャカルタで Asia/Oceania Regional Meeting が開催され、GC-JN から2名出席しました。GCO 関係者とアジア、オセアニアから10か国のローカルネットワークが出席しました。会合では、最近設立されたイニシアチブ、昨年のリーダーズサミットで紹介されたアーキテクチャー、アジア・オセアニア地域における署名者の動向、COP 提出状況、ローカルネットワーク間での連携プログラムの可能性等、たくさんのアジェンダについて意見交換しました。会の最後に、GC-JN のサプライチェーン分科会が作成した「提言書」の英語版を紹介し、プリントアウトしたものを配布しました。パキスタンネットワークの代表が非常に誉めてくださり、改めてGC-JN 分科会を誇りに感じた瞬間でした！報告書は会員サイトに掲載していますのでご覧ください。

[詳細はこちら！](#)

### ○日中韓ラウンドテーブル進捗状況

前回ご案内させていただいたとおり、今年度は日本が「日中韓ラウンドテーブル」のホスト国となり、第6回を東京で開催いたします。ミレニアム開発目標(MDGs)の達成期限である2015年を見据え、「ステークホルダー エンゲージメント」等をテーマに、日中韓共通に関心が高い CSR 課題におけるディスカッションを通じて、日中韓ローカルネットワーク間のコラボレーションを図るべく準備を進めております。

会員の皆様には、ご協賛・ご協力について依頼させて頂いており、既に14企業・団体の皆様よりお申し出をいただき、事務局一同、大変感謝しております。ご期待に応えられるよう、気を引き締めて努力いたします。

3月末に一次〆切となりますが、引き続き募集させていただきますので、皆様是非前向きにご検討ください。

#### 【第6回日中韓ラウンドテーブル開催概要】

- 日時:2014年8月28日(木)-29日(金)
- 場所:品川プリンスホテル他
- 主催:グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク
- 予算規模:700万円
- テーマ(仮):「ステークホルダー エンゲージメント -Post2015を見据えて-」

(GC-JN 会員サイト) <https://www.ungcjin.org/members/modules/gcjinnews/details.php?bid=344>

(GC-JN 一般サイト) <http://www.ungcjin.org/activities/topics/detail.php?id=118>

### ○【報告】2014年「世界水の日」記念イベント(3月20、21日)

国連世界水の日(3月22日)に先立って、3月20～21日に国連大学を会場に記念イベントが開催されました。「水とエネルギーのつながり(water-energy nexus)」をテーマに開催された同イベントのサイドイベント(技術展)には、GC-JN 会員であるアサヒグループホールディングス株式会社、荏原製作所、TOTO 株式会社の3社が出展し、パネル展示や実機展示を通じて、持続可能な発展に資する水環境及び水資源に関する日本の先端技術を紹介しました。イベントの様子は、GC-JN Facebook にてご覧ください。

<https://www.facebook.com/media/set/?set=a.478091885625838.1073741866.252271311541231&type=1>

### ○【ご案内】第6期互理町(わたりちょう)コレクティブアクション募集開始

東日本大震災復興コレクティブアクション(互理町)は4月から第6期をスタートします！ご案内の通り、第6期活動の募集を開始しました。昨年まで続けてきた苗木作りに加えて、今年からは津波で生き残った防潮林の環境整備に取り掛かります。震災から3年、手付かずだった防潮林には外来種が侵食し、防潮林内の生態系が変化しつつあります。私たちが作った苗を植林する前に、防潮林の環境整備が必要になります。GC-JN では第6期から植林に向けた新しい活動に皆さんと一緒に取り組んでいきたいと思っておりますのでご協力を宜しく願います。

詳しくは[こちら\(会員サイト\)](#)をご覧ください。

### ○【分科会関連】次年度分科会募集に向けて

2014年度の分科会は、4月中旬に参加募集のご案内をさせて頂き、6月より各分科会の活動をスタートできるよう進めていく予定です。あらためてGC-JNご担当窓口へ分科会参加応募アンケートを配信させていただきますので、次年度も分科会へのご参加、ご協力をどうぞ宜しくお願いします！

### ○【依頼】GC-JN 年次総会とラーニングフォーラム(6月4日)について

開催日はご案内していますが、当日の大まかなスケジュールが決まりましたので再度ご連絡します。

以下の要領で2013年GC-JN年次総会とラーニングフォーラムを開催します。

【日程】2014年6月4日(水)

【場所】東京ウィメンズプラザ(渋谷区神宮前5-53-67)

【アジェンダ】

13:00-13:30 受付開始

13:30-14:45 総会

14:45-15:00 休憩、LFからの参加者受付

15:00-17:30 ラーニングフォーラム

18:00-20:00 交流会@アンカフェ(会場からすぐ近く)

3/20の分科会推進委員会では、ラーニングフォーラムでの分科会発表と冊子用資料の作成のお願いについてご連絡しました。各分科会内で共有いただき、6月のラーニングフォーラムに向けてご準備ください。また、当日は会場設営などのサポートをいただきたいと思っております。今年はずでにアジェンダや会場が決定しているため、準備委員会は立ち上げませんが、15名ほどのサポートメンバーのお手伝いが必要になります。毎度、お手数お掛けしますが、ご協力いただけますと嬉しく思います。ご協力可能な方は、総会・ラーニングフォーラム担当 大野までご連絡をお待ちしております！

### ○【リマインド】「子どもの権利とビジネス原則」日本リリースシンポジウム(5月16日)

先月のニューズレターでもご紹介した「Children's Rights and Business Principles(子どもの権利とビジネス原則)」日本リリースシンポジウムのご案内です。この原則は、ラギーフレームワークではカバーしきれていない「子どもの人権」についても触れています。例えば、中国で親が出稼ぎに行き、取り残された子どもの支援活動をする 것도子どもの権利を守ることに繋がります。日本で取組みが進んでいる「ワークライフバランス」もその一例になり得るというわけです。こう考えると、「児童労働」の視点だけでなく、広い視野で子どもの権利はビジネスと関連していますね。セミナーは以下の日程で予定しています。現在、3者でアジェンダ策定中ですので、詳細が決定次第ご案内します。

【日時】2014年5月16日(金)14時00分~16時30分

【会場】ユニセフハウス1階ホール(港区高輪4-6-12)

【主催】グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク、公益財団法人日本ユニセフ協会、公益財団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

【定員と費用】130名、無料

【内容】「子どもの権利とビジネス原則」紹介、企業事例の紹介とパネルディスカッション等

---

★UNGCの最近の動き★

○世界の会員数最新情報(2014年2月27日時点)

- ・Business sector 8020 (新規 94社)
- ・Non-Business sector 4174 (新規 34団体)

○【ご参考】

①Call for Comments: A Practical Guide to Supply Chain Traceability

“Supply Chain Sustainability”におけるUNGCのアドバイザリーグループはサプライチェーンにおける企業の透明性とトレーサビリティに関する実用的なガイドラインを作成しました。ドラフト版は現在公開されており、2014年4月のローンチに向けて3/18まで意見を募集していました。早急に中身をご覧になりたい方は、Ms. Elena Bombis (bombis@unglobalcompact.org)までコンタクトいただきドラフト版をお取り寄せいただけます。GC-JNでは4月のローンチ後、速やかに会員の皆様へご紹介したいと思います。詳しくはこちらをご参照ください。

[http://www.unglobalcompact.org/Issues/supply\\_chain/advisory\\_group.html](http://www.unglobalcompact.org/Issues/supply_chain/advisory_group.html)

②A Guide for Anti-Corruption Risk Assessment

UNGCから腐敗防止に関する新しいガイダンスが公開されました。腐敗防止リスクアセスメントの履行に関する実用的なガイダンスです。この中には、アセスメントを完了するまでの6つのステップ、すなわち、「プロセスの確立、リスクの認識、リスク評価、リスク軽減管理の確認、なお残るリスクの見積り、アクションプランの設定」について記述されています。詳しくは[こちら](#)からダウンロード可能です。GC-JNの腐敗防止分科会も新設以来、盛り上がりを見せていますが、分科会活動の参考になればと思います。

---

著者：(社)グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク 事務局

編集：(社)グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク 事務局、広報委員会

【お問合せ先】

(社)グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク

TEL:03-5412-7235 FAX:03-5412-5931

©2014 Global Compact Japan Network all rights reserved.

※貴社・貴団体内におけるGC浸透目的での転送は歓迎します！